

# 競技注意事項

1. 本競技会は、2026 WA Competition&Technical Rules、2026年度日本陸上競技連盟競技規則、「競技会における広告及び展示物に関する規程」及び大会申し合わせ事項による。

※使用可能なスパイク・シューズの一覧表

<https://worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information>の中のMANUALS&GUIDELINES World Athletics Approved Shoe Listで最新版を確認すること(毎週金曜日には更新)。

2. アスリートビブスは競技者に①氏名、②番号、③氏名と番号の計3枚を配付する。  
原則として、①を胸に、②を背につける。ただし、跳躍競技出場者は③を胸か背のどちらかにつけること。

3. 招集時刻は下記の通りとする。

種別	招集完了時刻
トラック	15分前(※)
フィールド	20分前
	(棒高跳 16:50)

**【注意】**

- ①招集完了後、トラック選手はスタート位置で、フィールド選手はピットで選手紹介を行う。  
②練習は、開会式(国旗掲揚時のみ)の時はやめる。  
③棒高跳の練習は15:30～  
棒高跳の招集は競技実施直前に競技エリアで行う。  
④リレーオーダー用紙は招集完了時刻までに招集所に提出すること。  
※男女ハードル種目はスタート地点の現地召集とする。

4. バーの上げ方

種目	バーの上げ方						
	練習	1	2	3	4	5	以降
男子走高跳	2m00	2m00	2m05	2m10	2m15	2m20	+3cm
	2m10						
女子棒高跳	3m60	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	+5cm
	4m00						

※エントリーした選手の記録により、変更の可能性がある。

5. レーン順及び試技順は、プログラム記載順とする。
6. ①CR18.5及びTR7.1の適用により、警告を2回受けた競技者は失格となり除外処分対象となるため、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。  
②TR16.8の適用により、不正スタートした競技者は失格とする。  
③抗議については、TR8.5〔国際〕を適用し、競技エリアで競技者本人から当該審判長が抗議を受け付け、裁定する場合がある。フィールド競技の判定に対して競技者自身が異議のある場合には、直ちに当該審判長に申し出ることができる。
7. 競技場内での投てき練習は、1人2回までとする。
8. 競技に使用する用器具はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。  
ただし、投てき競技は、個人所有の投てき物の使用を希望する場合(1人2個まで)、日本陸連検定品かつWA認証品に限り検査を受け使用許可を受けることで使用を認める。  
事前に日本学生陸上競技連合HP(特設ページ)に掲載してある申請書に必要事項を記入し、各競技開始時刻の2時間前から1時間半前までに用器具庫の前で受付を行い、検査を受けること。検査に合格した投てき物は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする(検査合格シールは競技終了まではがしてはならない)。
9. 男女混合4×400mRはTR24.12を適用し、走順は男子-女子-男子-女子とする。

10. 第3位までの入賞者は表彰を行うので、競技役員の指示に従い、競技終了後直ちに正面玄関本部に集合すること。その際には2.①のアスリートビブスを胸につけること。

11. 練習は競技場内および雨天走路にて行い、原則、審判員の指示に従うこと。ただし、競技場内において開会式(国旗掲揚時のみ)及び周回競技実施時は練習を中断する。サークル・助走路での投てき練習、助走路での跳躍練習、バーをかけた跳躍練習は競技開始前のみとする。  
※400mH 17:05～17:25、100mH・110mH 18:10～18:25

## 投てき用具一覧表

レモンガススタジアム平塚  
R8・5

種目	規格		設置数
男子砲丸	7・26kg		2
	鉄	径120	
		径126	
男子ハンマー	7・26kg		3
	タングステン	径110	
女子円盤	スーパーHM	1kg	4
女子やり	スーパー	55-65M	3
	ノルディックダイアナ	60-70	2
	ネメト	80	1